

■第三回 原子力安全部会賞（講演賞）について

原子力安全部会では、原子力安全そのものを対象とし、専門領域に横串を通すような研究発表を奨励するために、原子力安全部会賞（講演賞）を設立し、年会・大会における優秀な講演を表彰してまいりました。2019 年秋の大会でご応募いただいた講演を審査した結果、次の 2 件の講演が「第三回原子力安全部会賞（講演賞）」に選ばれましたので、お知らせします。

講演題目：

ソースターム評価手法の高度化に向けた核分裂生成物化学挙動データベース ECUME の開発（2）
要素モデルセット

講演者：

鈴木 恵理子 氏（日本原子力研究開発機構）

表彰理由：

この発表は、ステンレス鋼に対するセシウム化学吸着の反応速度定数等を実験事実に基づいて設定し、シビアアクシデント解析コードに組み込む核分裂生成物の挙動を精緻化したものである。基礎的な研究とコード改良との間を丁寧に繋ぐ研究であり、高い評価を得た。発展途上の研究であり、モデルの使い方に関する検討を更に深めることが期待される。

講演題目：

ナトリウム冷却高速炉の炉心損傷事故時の制御棒材の共晶溶融挙動に関する研究（16）溶融ステンレス鋼への B4C 浸漬試験

講演者：

江村 優軌 氏（日本原子力研究開発機構）

表彰理由：

この発表は、溶融ステンレス鋼中に B4C ペレットを浸漬させる実験を行うことで、炉心損傷時に溶融した構造材に対する Na 冷却型高速炉制御棒材の溶融速度を求めたものである。難しい実験を丁寧に紹介しており、高い評価を得た。研究の最終目標である制御棒・構造材共晶反応の定量化に向けて更なる工夫が期待される。